

# Party

Vol.16

発行月：平成27年8月

旭川厚生病院広報誌



## 目次

1. 巻頭言 ..... 沖副院長
2. 眼瞼下垂症について ..... 形成外科 前田主任医長
3. 連携医療機関・関係機関のご紹介 ..... 千代田クリニック
4. 第7回 総合相談センター便り ..... 総合相談センター
5. 認定看護師のお仕事 ..... 看護部



### JA北海道厚生連の理念

JA北海道厚生連は、組合員ならびに地域住民の皆様生命と健康を守り、生きがいのある地域づくりに貢献してまいります。

### 病院の理念

私たちは、「最も信頼され選ばれる」病院をめざします。患者さまの権利を尊重し、いつでも安心して受けられる医療の提供に努めます。地域住民の健康を守り、農村・地域社会の発展に寄与いたします。

### 基本方針

1. 患者中心の医療と安全・快適な療養環境をつくります。
2. 高度医療を推進するとともに、総合周産期医療の確立に努めます。
3. 医療機関相互の機能連携を推進いたします。
4. 職員の教育・研修を推進いたします。
5. 経営基盤の強化を図り、健診事業の充実と医療・保健・福祉活動を通じて地域に貢献いたします。

### 患者さまの権利

1. 人権は尊重されます。
2. 適切な医療を平等に受けることができます。
3. 治療方法を選択することができます。
4. 十分に納得いく説明をお求めにすることができます。
5. 医療上の個人情報を守られます。
6. 転院、紹介を希望される場合、必要な情報は提供されます。



JA北海道厚生連旭川厚生病院

## 巻頭言



旭川厚生病院

副院長

沖

潤

一

小児科医師という仕事柄、小中学生の修学旅行について子どもたちと話すことがあります。昭和30年代に修学旅行を経験した私にとって、青函連絡船の二等客室で船旅を初体験し、旅館の大広間に10人前後で雑魚寝していたことが思い出でした。しかし、現在の修学旅行は、飛行機で本州に行って、宿泊するところも旅館ではなく、2人から多くて3人部屋のホテルの部屋です。トンネルを通過して新幹線が走ろうとする時代となり、青函連絡船で渡るという時代が遠い昔になったように、家族以外で宿泊するときの生活様式も大きく変化しました。

病室についての考え方も、随分変わりました。もちろん、病を治す・癒すという基本は同じですが、より快適に、そして自分の空間を大切にという考え方が求められるようになりました。私が医師になった昭和40~50年代は、6人部屋が当たり前で、8人部屋も稀ではなく、間仕切りのカーテンも、特別な時以外はありませんでした。時が進むにつれて、各自のプライバシーを守ることの優先順位が高くなり、個室を希望される方が多くなりま

した。旭川厚生病院でも、できるだけ個室対応できるように、尽力しております。スペースや病院全体の予算の問題で、(今では大部屋と考えられるようになった)4人部屋であっても、いびきや歯ぎしり、夜間のトイレが近いのかなども、より細かな配慮を行うように努力しております。

さらに、入院待ちの期間をより短くし、空き病床を減らすといった患者さんへのサービスと効率的な運用を目指しております。病棟における病歴聴取などの業務を軽減させ、効率的な病床の稼働を実現させるために、従来の総合センターの組織が改正されました。そして、平成25年5月に当時の柴田 好院長の肝いりで、病院2階に入院支援業務が加わった総合相談センターが開設されました。がん相談員、看護師、認定看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、入院受付の事務員などが配置され、1)がん相談支援センター、2)患者サポート相談窓口(医療・福祉・療育相談)、3)地域医療連携室といった窓口で、皆様の相談ごとに対応できるように心がけております。お気軽にご相談ください。

# 眼瞼下垂症について

形成外科 前田 拓



## 1. はじめに

顔面の老化変形の大きな原因のひとつが眼瞼下垂症がんげんかすいししょうです。うわまぶたが下垂するため、視野が狭くなり、その代償としておでこの筋肉を緊張させて、眉毛を挙げるようになります(図1)。生まれつきまぶたを開く力が弱い場合もあり先天性眼瞼下垂といいます。生まれた後にさまざまな原因で眼瞼下垂になることがあり、これを後天性眼瞼下垂といいます。老化変形のものは後天性眼瞼下垂であり、今回はこれについてのお話です。



図 1

## 2. 診断・症状

正面から顔を見たときにうわまぶたの下側は、茶色い目(角膜)の1~2mmくらいの所にあります。この位置が下にさがった状態が眼瞼下垂の状態です(図2)。

症状としては、まぶたが下がる事によって

視野が障害されるほか、おでこの筋肉を緊張させて眉毛を挙げてものを見ようとするので、それによっておでこにしわができます。さらに、筋肉を緊張させる為に頭痛、肩こり、自律神経失調症状(不



図 2

眠、うつ、便秘、手掌の発汗など)の神経症状を引き起こす事もあります。なお、皮膚弛緩症ひふしはんじょうとは、うわまぶたの下側を超えて皮膚が下垂することで視野障害がでる状態であり、眼瞼下垂症とは区別されます(これも手術治療の対象となります)。

## 3. 治療

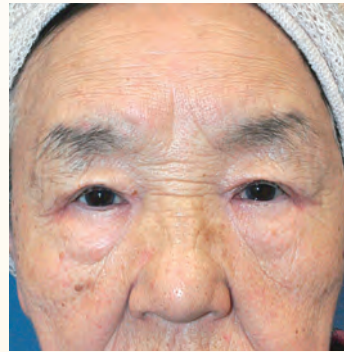
基本的には手術による治療となります。手術は部分麻酔で行います。うわまぶたの皮膚を切開して、目の奥のまぶたを上(上)に引っ張り上げる膜や筋肉を操作して糸で固定します。このときに実際に坐ってもらって目の開き具合を確認します。左右のバランスなども見て、必要に応じて糸をかけ直して微調整を行います。その後皮膚を縫います。

#### 4. 症例の実際（当科で手術治療を行なった方）

①80歳代女性。眉毛を挙げており、おでこに深いしわが形成されています。



術前



術後4ヵ月

②80歳代女性。まぶたが下がって少し眠そうな印象がでています。



術前



術後4ヵ月

③70歳代男性。左右差があります。



術前



術後2ヵ月

#### 5. 当科での眼瞼下垂症手術

当科では現在年間50～60件の眼瞼下垂症手術を行っています。また他にも眼瞼内反症なども手術をしており、まぶたの手術を多く行っています。まぶたの手術はかなり腫れる為

に日帰り手術は基本的には行っていません。約1週間の入院が必要となります。

\* 今回の写真は患者様の同意を得て掲載しております。

## 連携医療機関・関係機関のご紹介 第7回

### 当院の紹介と旭川厚生病院との病診連携

千代田クリニック院長 佐々木 伸 彦

#### 当院の紹介

当院は昭和47年に開院しました。11年前に改築後、前院長である父から引き継いで約10年になります。当院は一般内科・小児科としてはじまり、現在は主に呼吸器・循環器内科を中心にその他一般内科、特定健康診査、予防接種などの診療をしています。地域の様子も40年余りの間に徐々に変化しており、開院当初は子供さんが非常に多かったようですが、現在はご高齢の方が多くなり、在宅診療に移行する患者さんもしゃいます。

当院は通常朝8時半からの診療で、血液検査、胸部／腹部レントゲン、心電図、エコー検査（頸動脈、甲状腺、腹部、心臓）などを行っています。また、特定健康診査、後期高齢者医療健診などは随時受け付けています。さらに肺炎球菌、インフルエンザ、小児の各種ワクチン（BCGを含む）も随時接種しています。また必要に応じて往診や在宅診療、高齢者施設への訪問診療もしています。

#### 旭川厚生病院との関係

地域柄、旭川厚生病院とのお付き合いは永く、父の時代から30年以上になります。私自身も厚生病院の呼吸器科に勤務した時期があり、診療部長の秋葉先生のもとで3年ほどご指導をいただきました。離任してから10年以上になりますが、当時お世話になった各科の先生方で現在も勤務されている方も多く、この場をお借りして御礼申し上げます。当院を受診される患者さんは、東光豊岡地域はもちろん東川、東旭川まで広範囲にまたがり、年齢層も幅広いため、様々な疾患の患者さんが受診されます。時には急を要する状態の方もみえますが、そうした状態の患者さんにも迅速に対応していただいております。厚生病院には私自身大きな信頼を寄せております。この地域に厚生病院があることは、住民の皆様にとっても誠に心強いものではないでしょうか。当院の地域における役割は一次医療（高血圧や脂質異常症など入院に至らないような疾患の治療）、急性期疾患の初期治療といえましようか。長い期間に渡って、その方を診続けるなかで安心できる生活を送るお手伝いをする。必要に応じて精密検査

の出来る病院へご紹介し、治療をして頂く。厚生病院や他の病院に通院されている患者さんでも、風邪やちょっとした健康に関する相談であっても、お気軽に受診していただければ、連携をとりながら、できる限り対応したいと考えています。普段の患者さんの状態を知っていることが、小さな変化から時に大きな病気の早期発見につながることもあります。私共のような地域の開業医と厚生病院をはじめとする二次医療病院が様々な面で協力し、より良い医療を提供できるように今後とも努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



#### 千代田 クリニック



診療科：内科、小児科、呼吸器科、循環器科内科

所在地：旭川市東光1条6丁目2-3

第7回

# 総合相談センター がん相談支援センター便り

旭川厚生病院では、患者さんやご家族の不安や心配などの相談に、いつでも対応できるよう総合相談センターを設置し、助産師・保健師・看護師・認定看護師（緩和ケア、皮膚排泄ケア）臨床心理士・医療ソーシャルワーカーが、それぞれの専門性を発揮して患者さんを支援しています。総合相談センターは、がん相談支援科・地域医療連携科・入退院支援科・医療社会事業科・療養支援科・病床管理機能を持った多職種組織です。

当院は、平成17年に【地域がん診療連携拠点病院】に指定されており、「がんの早期発見」「高度治療」だけでなく、病気により抱える患者さんやご家族の悩みに寄り添えるように様々な取り組みをしてきました。また【総合周産期母子医療センター】に認定されている地域の役割を踏まえ新しい試みも始めました。今回のPartyでは、その活動をご紹介します。

## 患者家族サロン『ミナミナ』

平成20年旭川厚生病院の別館に、がん患者さんの語らいの場としてサロンが開設されました。サロンの名前の由来は、アイヌ語の「ニコニコ笑い(\*^\_^\*)」を意味し、自由な語らいの中から笑顔を取り戻せるような場所になってくれたらとの願いを込めています。

ミナミナの扉を開けると、いつでもボランティアさんがあたたかな笑顔で迎えてくれます。

辛い気持ちを抱えたままの人  
家族に不安を言えずに悩んでいる人  
誰かに聞いて欲しいと思っている人

是非『ミナミナ』を訪れてみて下さい。



サロン内風景：くつろぎ、語り合える家具をセッティング



ミナミナ入り口のディスプレイ

ひとりで扉を開ける勇気がない…方を知っていらっしゃったら  
旭川厚生病院 2階 総合相談センターの**がん相談員**を訪ねるよう声をかけて下さい

## 『緩和ケアチームPCT』の活動

当院が、【地域がん診療連携拠点病院】に指定された平成17年より、全てのがん患者さんから「苦痛が取り除かれるように」また、患者さんご家族の「生きることを支えられるように」緩和ケアチームは日々活動しています。

緩和ケアに関する啓蒙普及（緩和ケア研修会・E L N E C - J研修会・講演会など）への企画運営や、病棟回診、チームカンファレンスなど全人的アプローチを実践しています。

緩和ケアチーム（PCT）員として総合相談センターの緩和ケア認定看護師・臨床心理士・医療ソーシャルワーカーが活動していますが、がん末期患者さんへのQOLを大事にした在宅療養支援を行っているのが特徴のひとつです。

（QOL（クオリティ・オブ・ライフ）：生命・生活の質、いかに自分らしく生活を送れるか）



～緩和ケア外来での診察風景～  
緩和ケア科医師と臨床心理士

～病棟回診後のカンファレンス風景～



## 『周産期母子支援コーディネーター』による養育・在宅療養支援

当院は、【総合周産期母子医療センター】としてハイリスクの母子や新生児の受け入れをしてきました。今年4月に総合相談センターに助産師を配置して、出産前から、新生児や重症児に対する療養（療育）支援をコーディネートする役割を担う体制を整え、医療ソーシャルワーカーと協働して活動を始めました。支援が必要な母子に医学的・社会的問題の両方の課題を見極め適切な療養環境へ速やかに移行できるよう調整・支援をしていくには、訪問看護ステーションだけでなく地域保健師や行政との連携などが重要となります。活動内容は、まだまだ模索中ですが「地域とつながる母子支援」を目指したいと思っています。

在宅母子支援をコーディネート  
～NICUでの情報交換～



文責：総合相談センター看護管理副部長 舟橋 美智代

# 認定看護師のお仕事をご存知でしょうか？

特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師です。高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりや看護の質の向上を目的として組織横断的活動を通して他職種との連携を大切に役割を發揮しております。

特定の看護分野とは、救急看護、皮膚・排泄（はいせつ）ケア、集中ケア、緩和ケア、がん化学療法看護、がん性疼痛（とうつう）看護、訪問看護、感染管理、糖尿病看護、不妊症看護、新生児集中ケア、透析看護、手術看護、乳がん看護、摂食・嚥下（えんげ）障害看護、小児救急看護、認知症看護、脳卒中リハビリテーション看護、がん放射線療法看護、慢性呼吸器疾患看護と慢性心不全看護の21分野があります。当院には、皮膚・排泄ケア（1名）、緩和ケア（3名）、がん化学療法看護（2名）、感染管理（2名）計8名の認定看護師がおります。

認定看護師の役割は、（1）個人、家族および集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践すること、（2）看護実践を通して看護職に対し指導を行うこと、（3）看護職に対し専門家による専門家への相談（コンサルテーション）を行うこと、とされています。

資格取得には、日本の保健師、助産師、看護師のいずれかの免許を取得後、実務研修が通算5年以上、そのうち3年以上は認定看護分野の研修があることに加え、日本看護協会が認定している認定看護師教育課程を修了していることが条件となっておりその上で、日本看護協会の試験に合格しなければなりません。それぞれの活躍をご紹介します。

## がん化学療法看護

抗がん剤治療の患者さんやご家族が、少しでも不安なく治療に取り組めるように支援しています。



治療中の患者さんへ声かけ



治療開始前にスタッフと確認

## 感染管理

病院にかかわる全ての人々が病院で感染を受けることのないよう環境を整え、感染症の「予防」と「発生を最小限に努め」安心して医療が受けられようとして感染対策に努めています。



安全な作業環境の点検中

## 緩和ケア

緩和ケアチーム・緩和ケア外来・緩和ケア病棟のフィールドの中で連携し、がんを診断されてから終末期までの長い経過の中で患者さん・ご家族のつらさを緩和しその人らしさを大切にしたい関わりをしています。また、安心してご自宅で過ごせるよう、地域スタッフとも連携し療養支援も行っています。



患者さん・家族に寄り添ったケアの中での溢れる笑顔

## 皮膚・排泄ケア

人工肛門、人工膀胱、ろう孔、失禁の専門看護師として皮膚の生理機能を維持・増進・回復の支援を行っています。



人工肛門（ストーマ）管理について指導中

看護部管理副部長 秋本信子



## 旭川厚生病院の健康管理活動

当院では、今の前進である「上川医療圏旭川保健病院」の時代（昭和16年）より、農村の無医地区巡回診療を開始し、現在は、厚生連の組織理念と当院健診センターの基本理念の基づいた健康管理活動を実施しております。

また、医療併設型の健診施設であるという利便性を活かして、JA・健保組合・地元自治体との連携を図りながら、組合員並びに職域、地域住民の健康を守るため、がん検診を含めた総合的な疾病予防の視点に立った対策を積極的に展開しております。

### ●人間ドック

健診センターで実施しております人間ドックは、1日55名の定員で月・水・金を男性日、火・木を女性日として実施しております。オプション検診についても各種実施しており、早期発見・早期治療をはじめ、生活習慣病予防のお手伝いをさせていただきます。


健診日についてはあらかじめ電話等での予約が必要です。お問い合わせ等ございましたら、下記までご連絡ください。

### ●巡回ドック（特定健診）

各JA・自治体を胃・胸部併用の検診バスで訪問し、巡回ドック（特定健診）を実施しております。検査項目は人間ドックに準じており、超音波検査以外はほぼ同様の検査項目を受診することが可能です。（一部地域では骨検診も実施）

平成20年度よりメタボリックシンドロームに着目した『特定健診』がスタートし、問診・身体計測・血圧測定・尿検査・血液検査が必須項目となり、医師が必要と認めた場合は、心電図・眼底検査・貧血検査の詳細項目を実施することとなります。



 JA北海道厚生連

## 旭川厚生病院健診センター

〒078-8211 旭川市1条通24丁目

●ご予約は ☎(0166)33-7171 内線2146/2198

# JA北海道厚生連旭川厚生病院 外来診療体制表

## 受付時間

新患受付 午前の部 8:15~11:30 午後の部 12:45~15:00  
 再来受付 午前の部 7:45~11:30 午後の部 12:30~15:00

(診察時間 午前の部 8:30~ 午後の部 下記参照) (小児科一般外来のみ14:00~15:30)

- 各診療科ごとに診療体制が異なります。  
 下記表の●が一般外来として受診可能な時間帯です。(△は予約制の一般外来です)  
 (小児科午後の一般外来を受診される方は、新患受付へお申し付けください)
- 特殊外来は予約制です。下記特殊外来一覧をご参照ください。

お問い合わせ 旭川市1条通24丁目111番地3 TEL (0166)33-7171

|           | 月   |             | 火  |             | 水  |             | 木  |             | 金  |             |
|-----------|-----|-------------|----|-------------|----|-------------|----|-------------|----|-------------|
|           | 午前  | 午後          | 午前 | 午後          | 午前 | 午後          | 午前 | 午後          | 午前 | 午後          |
| 血液・腫瘍内科   | ●   |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             |
| 代謝・内分泌内科  | ●   | △           | ●  | △           | ●  | △           | ●  | △           | ●  | △           |
| 呼吸器科      | ●   | △           | ●  | △           | ●  | △           | ●  | △           | ●  | △           |
| 消化器科      | ●   | △           | ●  | △           | ●  | △<br>特殊外来   | ●  | △           | ●  | △           |
| 循環器科      | ●   | △           | ●  | △<br>特殊外来   | ●  | △<br>特殊外来   | ●  | △<br>特殊外来   | ●  | △           |
| 神経内科      |     |             |    |             |    |             |    |             | ●  |             |
| 小児科       | ●   | ●<br>14:00~ | ●  | ●<br>14:00~ | ●  | ●<br>14:00~ | ●  | ●<br>14:00~ | ●  | ●<br>14:00~ |
| 外科        | ●   | △           | ●  | △           | ●  | △           | ●  | △           | ●  | △<br>特殊外来   |
| 乳腺外科      | △   |             | △  |             |    | △           |    | △<br>第2・4   | △  | △           |
| 呼吸器外科     | ●   |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             |
| 整形外科      | ●   |             | ●  |             | ●  | △           | ●  |             | ●  |             |
| 産婦人科(婦人科) | ●   |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             |
| 産婦人科(産科)  | ●   |             | ●  | 特殊<br>外来    | ●  | 特殊<br>外来    | ●  | 特殊<br>外来    | ●  |             |
| 皮膚科       | ●   | ●<br>14:00~ | ●  | ●<br>14:00~ | ●  |             | ●  |             | ●  | ●<br>14:00~ |
| 形成外科      |     | ●<br>13:00~ | ●  |             |    |             | ●  |             |    | ●<br>13:00~ |
| 泌尿器科      | ●   | △           | ●  |             | ●  |             | ●  |             | ●  | △           |
| 耳鼻咽喉科     | ●   |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             |
| 眼科        | ●   |             |    |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             |
| 精神科       | 休診中 |             |    |             |    |             |    |             |    |             |
| 麻酔科       | ●   |             |    |             | ●  |             |    |             | ●  |             |
| 放射線科      | ●   |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             | ●  |             |
| 緩和ケア科     | ●   | △           | ●  | △           | ●  | △           | ●  | △           |    |             |

## ●特殊外来一覧

- 〔消化器科〕  
 肝臓(水) 13:30-16:00 (予約制)
- 〔小児科〕  
 慢性疾患(月・火・金) 13:30-15:30 (予約制)  
 予防接種(月) 13:30-15:00 (予約制)  
 循環器(第2・第4水) 13:30-15:30 (予約制)  
 1ヵ月健診(水) 13:00-15:00 (予約制)  
 内分泌(毎月第2・3・4木) 13:30-15:30 (予約制)  
 発達(木) 13:30-15:30 (予約制)  
 神経(月) 13:30-15:30 (予約制)  
 (木) 8:30-15:30 (予約制)  
 乳児健診(金) 13:30-15:00  
 乳児健診(佐藤Dr)(毎週火・木) 13:30-15:00  
 午後(一般外来) 14:00-16:00
- 〔外科〕  
 ストーマ(第3金) 13:00-16:00 (予約制)  
 ” 【新患可】※  
 ストーマケア(金) 13:00-16:00 (予約制)
- 〔乳腺外科〕  
 乳腺外来(水・金及び第2・第4木) 13:30-16:30 (予約制)  
 (月・火) 9:00-11:30 (予約制)
- 〔産婦人科〕  
 産後1ヵ月健診(水) 14:00-16:00 (予約制)  
 〔神経内科〕 当院で定期通院中の患者のみ、紹介を受付
- 〔放射線科〕 9:00-11:00  
 ※【新患可】以外の外来は予め午前外来受診となります。  
 ※麻酔科、血液内科の診察時間は9:30~11:30となります。



## JA北海道厚生連旭川厚生病院

〒078-8211 旭川市1条通24丁目111番地3  
 TEL:(0166)33-7171 FAX:(0166)33-6075

## ●旭川厚生病院ホームページアドレス

<http://www.dou-kouseiren.com/byouin/asahikawa/>



※PCサイトへ接続されるQRコードの為、うまく表示されない場合があります。